

助成金獲得にはコツがある ～助成金獲得の近道～

経営革新等認定支援機関 中小企業診断士 関浦照隆

小規模事業者持続化補助金は、小規模事業者が行う販路開拓や生産性向上の取組を支援する制度です。

1. 第1回～第11回までの採択結果の推移

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回
申請件数 (件)	8,044	19,154	13,642	16,126	12,738	9,914	9,339	11,279	11,467	9,844	11,030
採択件数 (件)	7,308	12,478	7,040	7,128	6,869	6,846	6,517	7,098	7,344	6,248	6,498
採択率 (%)	90.9	65.1	51.6	44.2	53.9	69.1	69.8	62.9	64.0	63.5	58.9

初回の公募採択率が約 90.9%と高確率だったのに対し、第4回では約 44.2%まで下がっていました。第6回以降 60%台を維持してきた採択率は、第11回に 60%台を割り込み低下しています。

第13回 スケジュール

第13回 受付締切分	申請受付締切日	2023年9月7日(木)
	事業支援計画書交付の受付締切	原則2023年8月31日(木)
	事業実施期間	交付決定日から2024年7月31日(水)
	実績報告書提出期限	2024年8月10日(土)

2. 採択結果から、事例を紹介します。

小規模事業者持続化補助金 活用事例集

一般型					
No.	事業者名	県	業種	事業テーマ	支援機関
1	(有) 焼山荘	青森県	宿泊業・娯楽業	新たな販促インバウンド用パンフレットの作成	十和田湖商工会
2	(有) 亜細亜建設	青森県	製造業その他	自社開発融雪槽【スノーポケット】販売広告事業	青森商工会議所
3	わとな自然農園	岩手県	製造業その他	パンの生産能力の向上と直売所開設による販路開拓	紫波町商工会
4	高鉦菓子舗	岩手県	製造業その他	当地固有種の高山植物花酵母を使用した無添加パンの商品化事業	花巻商工会議所
5	グラントスカルピン	宮城県	商業・サービス業	プロモーション強化及び新規顧客獲得事業	南三陸商工会
6	(有) タカハシ印店	秋田県	商業・サービス業	レーザー彫刻機導入による新サービスのPRパンフレット作成	由利本荘市商工会
7	(有) 庄内旬青果	山形県	商業・サービス業	作業効率化による「だだちゃ豆」の販路拡大と販促ツールの整備	出羽商工会
8	焼肉いわじ	山形県	商業・サービス業	県外や訪日外国人を取り込む為の地酒の強化、ウェブサイト新設	鶴岡商工会議所
9	金中林産(資)	福島県	製造業その他	2.5次元対応デザイン立体造形木工品の販路拡大事業	南会津町商工会
10	ランプ工房sifa	福島県	商業・サービス業	HPとSNSを活用した新たな販路開拓と売上増加計画	西郷村商工会
11	(株) 萬花楼	福島県	商業・サービス業	お弁当を核とした老舗割烹料亭の新たな販路開拓事業	会津若松商工会議所

助成金獲得にはコツがある ～助成金獲得の近道～

経営革新等認定支援機関 中小企業診断士 関浦照隆

小規模事業者持続化補助金は、小規模事業者が行う販路開拓や生産性向上の取組を支援する制度です。

3. 小規模事業者持続化補助金「経営計画・補助事業計画」の書き方

持続化補助金（小規模事業者持続化補助金）を申請する際に、事業者の方がとくに苦労するのが、申請書の「様式 2-1」の「経営計画」と「補助事業計画」の書き方です。

日本商工会議所「小規模事業者持続化補助金」のページには、「様式記載例（PDF）」が参考として掲載されています。

1. 企業概要

概要・沿革 設立年、基本理念、代表の経歴、後継者がいればその方の経歴について記載します。

基本情報 営業時間、人員体制、店舗立地などについて記載します。

商品構成

利益構成 売上、商品（サービス）について記載します。

2. 顧客ニーズと市場の動向

顧客ニーズ 顧客（消費者・取引先）が求めている商品・サービスは何かを記載します。

市場の動向 競合他社の存在や顧客の増減など、これからの市場環境の見通しを記載します。

一般的な市場調査のデータについては、地域経済分析システム（RESAS）<https://resas.go.jp/> を利用すると便利です。

3. 自社や自社の提供する商品・サービスの強み

自社の強み 商品・サービスが他社に比べて優れている点を記載します

顧客の評価 顧客に評価されている点を記載します。

お客様の声、お客様アンケートの結果、新聞や雑誌記事で取り上げられたことなどを記載します。

4. 経営方針・目標と今後のプラン

経営方針 上記の 1～3 を踏まえた、これからの経営方針を記載します。

顧客の評価 「〇年までに来店客数〇％増、客単価〇〇円」のような数字の目標を記載します。

お客様から取引先から「こういう会社だと思われたい」のような目標を記載します。

2023 年 6 月 1 日お知らせ

第 12 回受付締切分の公募は 2023 年 6 月 1 日（木）に終了いたしました。

第 13 回公募受付は準備中です。第 12 回までの様式では申請が出来ませんのでご注意ください。

<https://r3.jizokukahojokin.info/>

事例から学ぶ「持続化補助金」

<https://mirasapo-plus.go.jp/hint/20509/>

助成金獲得にはコツがある ～助成金獲得の近道～

経営革新等認定支援機関 中小企業診断士 関浦照隆

小規模事業者持続化補助金は、小規模事業者が行う販路開拓や生産性向上の取組を支援する制度です。

4. 助成金の応募準備について 1 → SWOT 分析シートの活用

現状分析と課題を整理します。SWOT 分析シートを利用します。

酒飯店の事例

分析結果の一例		
	好影響	悪影響
外部要因	機会 (Opportunities) ・ 焼酎ブーム ・ 商圏人口の増加 ・ 嗜好の多様化 etc	脅威 (Threats) ・ 競合店の開業 ・ 飲酒人口の減少 ・ 消費者の低価格志向 etc
	自店の強み (Strengths) ・ ワイン、焼酎の品揃え ・ 昔からの上得意客が豊富 ・ 知識豊富な従業員の存在 ・ 人脈の活用 etc	自店の弱み (Weaknesses) ・ 店主の高齢化、後継者未定 ・ 価格競争では不利 ・ 資金不足で設備投資困難 ・ 小さい店舗スペース etc

自動車販売・板金塗装を営む会社

	強み	弱み
外部環境	板金、修理の需要が高まっている	安価な車検
	中古車販売店が再編成されている	保険料制度の改定
	軽自動車の維持費が安く需要が増えている	事故でも修理しない傾向が増加
	公共交通機関が不十分な地域の環境	車両の保有率の低下 市場の縮小
	機会	脅威
内部環境	情報収集をしている (同業他社)	職人が接客サービスが苦手
	納期を伝えたと段取りして期限を守れる	社長に権限が集中、金額交渉が遅延
	利幅を低くしてもアフターケアを大切に	特殊な整備機材が必要な車種がある
	支払手形をださない	資金力が弱い

助成金獲得にはコツがある ～助成金獲得の近道～

経営革新等認定支援機関 中小企業診断士 関浦照隆

小規模事業者持続化補助金は、小規模事業者が行う販路開拓や生産性向上の取組を支援する制度です。

5. 助成金の応募準備について 2 → SWOT 分析シート記入の実習

SWOT(スウォット)分析とは、「強み(Strength)」、「弱み(Weakness)」、「機会(Opportunity)」、「脅威(Threat)」の頭文字 SWOT から名付けられた、事業分析のツールです。

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	強み (Strength) 自社の持つ強みや長所、得意なことなど	弱み (Weakness) 自社の持つ弱みや短所、苦手なことなど
外部環境	機会 (Opportunity) 社会や市場の変化などでプラスに働くこと	脅威 (Threat) 社会や市場の変化などでマイナスに働くこと

SWOT 分析では、自社の事業の状況を、内部環境（自社がもつ資産やブランド力、品質など）のプラス要因の「強み」とマイナス要因の「弱み」と、外部環境（自社を取り巻く、市場や競合、法律など）のプラス要因の「機会」とマイナス要因の「脅威」に分けて整理します。

	強み	弱み
外部		
環境		
	機会	脅威
内部		
環境		

● 「弱み」と「脅威」を混同しない

よくありがちなのが、内部環境の「弱み」と外部環境の「脅威」がごっちゃになることです。

内部環境は「自社が原因のもの、自社が持っているもの、頑張ればなんとかなるかもしれないもの」であり、外部環境は「影響を受けるだけで、自社の力では変えようがないもの」と考えると良いでしょう。たとえば「店の立地が悪い」ことは、移転することも可能なので内部環境の弱みです。一方、「商圈の少子高齢化が進んでいる」ことは、自社では変えられない外部環境なので「脅威」です。

- 外部環境は、会社や事業によって、プラスに働く場合（機会）と、マイナスに働く場合（脅威）があります。自社にとってどうなのかという視点で考えてください。

～助成金獲得の近道～

経営革新等認定支援機関 中小企業診断士 関浦照隆

小規模事業者持続化補助金は、小規模事業者が行う販路開拓や生産性向上の取組を支援する制度です。

6. 事業再構築補助金について

- 第10回公募の申請受付を開始いたしました。

申請期間は 6/9(金)12:00～6/30(金)18:00 です。

事業再構築補助金には、「成長枠」、「グリーン成長枠」、「卒業促進枠」、「大規模賃金引上促進枠」、「産業構造転換枠」、「サプライチェーン強靱化枠」、「最低賃金枠」および「物価高騰対策・回復再生応援枠」の8つの事業類型があります。

第10回公募で新設される成長枠では、過去～今後のいずれか10年間で、市場規模（製造品出荷額、売上高等）が10%以上拡大する業種・業態に属していることを要件としています。

事業再構築事業について（全国全国商工新聞 掲載記事:4月19日経営）



個別のご相談窓口

SMEコンサルタント 中小企業診断士 関浦照隆

t-seky@sme-consultant.net

